



## English Project ドキドキのインタビュー

現在English teachersを中心に”Good maner project”というEnglish projectに取り組んでいます。自分たちが校外でマナーよく過ごし、よいマナーを広めることで、SOLANをよりよい学校にしていこうというプロジェクトです。

今週は、各クラスで手分けをして、「駅（尾張瀬戸駅）」「公共施設（瀬戸蔵ミュージアム）」「お店（アピタ）」「商店街（銀座通り商店街）」で、それぞれの場所でのよいマナーや気を付けることをインタビューしました。



「お店の中では走らない」「他の人に迷惑をかけない」「電車やエレベーターは降りる人が先」「あいさつやお礼を言うと、相手がうれしくなる」など、おうちの人や先生から普段聞いていることも多いマナーもたくさんありました。しかし、実際にその場所を利用している方々からそれらのマナーを聞くことは、とても重要や学びだったことでしょう。

インタビューの後、さっそくお互いにお店の中で走らないように声を掛け合ったり、インタビューに答えてくれた方に、丁寧に礼を言ったりするなど、よい姿をたくさん見ることができました。

## 2、3年生で有効な情報収集の手段＝インタビュー

国語科では、情報収集の有効な手段を各学年で設定しています。本から情報を収集するというのは難しいことなので、2、3年生は身近な人や専門家からのインタビューが重要な情報収集の手段になっています。

2年生では、インタビューから話の大体を捉えてメモをするという国語の授業をしましたが、みんななかなか上手に聞いたことをメモしていました。国語科で身に付けた技能をプロジェクトに活用するととてもよい体験ができました。

この「インタビュー」という情報収集手段が、探究の時間に使える子が現れてくるとよいなと思っています。

家族や学校職員以外の人に話しかけるといのは、かなり心理的ハードルが高い活動です。その分成功したときは学習効果も高く、達成感もかなりのものになります。インタビュー成功で、うれしくなった子どもたちは、次々とチャレンジをして、中には10人もインタビューをしているグループもありました。

子どもたちを見ているとおもしろいもので、おじいさんやおばあさん、お店の人はインタビューしやすいようです。では、子どもたちが一番ドキドキしながらインタビューしたのはどんな人でしょうか？

答えは、「高校生」です。

理由は分かりません。大きくて強そうだからでしょうか？

とにかく高校生にインタビューするのはかなり緊張したようです。他のクラスの子が高校生にインタビューをしている写真を見せたら、なぜか「すごい！高校生にインタビューしてる！」と不思議な盛り上がりを見せていました。

また、アピタでは「SOLAN小学校の児童が商店見学に来ています」と放送で紹介してもらって、子どもたちはとても喜んでいました。帰る前に、わざわざインフォメーションセンターに寄って、「放送してくれてありがとうございました！」と感謝の言葉を伝える子もいました。

こういった人柄のよさは、この2年生の子たちのもつすばらしい点だなと思います。



【高校生へドキドキのインタビュー】